

天文現象

4/4 下弦

4/6~8

月、木星、土星が並ぶ(明け方、東の低い空)

4/12 新月

4/17 月と火星が並ぶ

4/20 上弦

4/27 満月



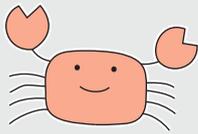
★星座盤の使い方



星座盤は空にかざして方位を合わせてみて、空と重ねると…東西の向きが正しくなるよ。

- ★ 惑星
- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

ワンポイント星座



かに座

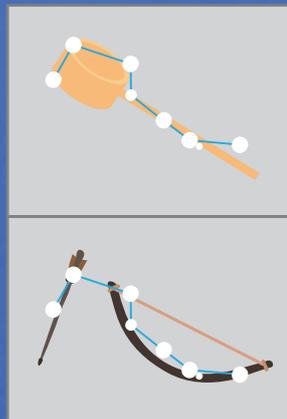
かに座の見どころは、ほぼ中央に位置するプレセペ星団 (M44) です。暗く澄んだ空のもとでは、肉眼でも淡い光のかたまりを見ることができます。古くからその存在は知られており、古代ギリシャでは「小さな雲」または「小さな霧」と呼ばれていましたが、17世紀にガリレオ・ガリレイが自作の望遠鏡を向けて、初めて星の集団であることを発見しました。

今月のポイント

生解説プラネタリウム

ノチウ

—アイヌ民族の星座をたずねて—



北斗七星の七つの星々は、世界各地でさまざまな民族に目印として用いられ、いくつもの星座が作られました。ひしゃくの形はもちろんのこと、人の姿や、身の回りの品々にも見立てられました。アイヌ民族にもこの七つの星を用いた星座が伝わっています。そのひとつが「アイ・ノチウ (矢・星)」と「ク・ノチウ (弓・星)」。ひしゃくの水をくむ部分の先端が矢、ひしゃくの持ち手のあたりを弓に見ます。アイヌ民族による星の伝承——ノチウの伝承を知ると、今夜の北斗七星がひとあじ違って見えるかもしれません。

コラム

春の夫婦星 アークトゥルスとスピカ

4月の午後9時頃、東の空には明るい1等星が2つ輝いています。一つはオレンジ色に輝くうしかい座のアークトゥルス、もう一つは白っぽく輝くおとめ座のスピカです。対照的な色で輝く2つの星は、アークトゥルスを男性、スピカを女性と見立て、「春の夫婦星」とも呼ばれます。地上から見ると2つの星はずいぶん離れて見えますが、実は宇宙空間ではアークトゥルスは猛スピードでスピカの方向に移動しており、およそ5万年後には2つの星は並んで見えるようになります。遠い将来、寄り添って輝く夫婦星に想いを馳せて、春の夜空をお楽しみください。

